

調査項目 ①「都市公園の公民連携におけるサウンディング手法及び公募条件」に関する調査研究

調査年次 平成29年度（9次調査）

目的

平成29年に都市公園法の一部改正により公民連携による新たな公園の整備手法が創設され、さらなる民間活力による都市公園の再生・活性化を推進することが可能となった。平成28年度調査に引き続き、公民連携の取り組み状況の把握、先進事例調査、サウンディングの在り方、公募手続等、事業実施上の留意点などの整理を行うことを目的とする。

概要

以下の内容について調査を行った。

- ①PPP/PFI事業推進にむけた国の方針およびPPP/PFI地域プラットフォーム形成支援の状況把握
- ②都市公園等における公民連携事業による整備等（新規建設および改修、運営・維持管理含む）の実施状況把握
- ③都市公園等における公民連携事業立案に至るサウンディング手法の整理
- ④都市公園等における公民連携事業の公募手法の整理
- ⑤都市公園における公民連携事業実施に関わる留意事項に係る考察

結果

- ①公民連携事業推進に向けた国の方針及び国の支援策と地方公共団体の取り組みの整理を主に文献調査で行った。地域プラットフォームの活用状況等について調書により把握した。
- ②公民連携事業の実績の有無、事業概要、立案の経緯、事業手法、庁内体制などについて、アンケート調査により全国の公民連携事業の取り組み状況を把握した。
- ③サウンディングの実施の背景、手法、対象企業の基準や周知方法、留意点、採用手段の有無、採用基準などについて、実績のある都市にヒアリングやアンケート調査を行い、比較できるように一覧形式でタイプの分類と条件整理を行った。
- ④公民連携事業として、事業採択手続及び基準、対象公園、事業種類、期間事業資金、スケジュール、選定基準、選定委員、リスク分担などの整理を行った。
- ⑤サウンディング手法及び民活公募手法の在り方を踏まえ実施の際の留意点について考察した。

課題

都市公園における公民連携事業のポイントとしては、民間事業者の発掘、事業の早期段階での「対話」、事業方式の理解と効果的な事業スキームの構築、民間活力導入の効果の最大化、産学連携、他部局連携が必要であることが挙げられた。

調査結果の反映等

キーワード

公民連携、サウンディング

事例公園等

北九州市「勝山公園」、高槻市「安満遺跡公園」、吹田市、「千里南公園」、横浜市「市内の都市公園の活用に関する対話によるサウンディング型市場調査」